

令和元年 9 月吉日

公益社団法人岐阜県建築士会 会員各位

公益社団法人岐阜県建築士会岐阜支部

支部長 入山 要

令和元年度 岐阜県建築士会岐阜支部研修会のお知らせ

初秋の候、皆様にはますますご健勝の事と存じます。

平素は、当支部の活動に格別のご協力を賜り誠に有難うございます

さて、この度、日帰り研修会を下記の要領にて企画し実施する運びとなりましたので、会員の皆様の多数ご参加をお待ちしております。

また、岐阜支部以外の士会員及び一般の方の参加も歓迎いたします。

敬 具

記

行 先；大阪方面（予定；変更になる場合があります）

・大阪城公園（ミライザにてランチ）

・万博記念公園（太陽の塔見学・散策）、彩輝館（彩都やまもり、中島工務店様モデルハウス）

日 程；令和元年 12 月 2 日（月）

会 費；岐阜県建築士会員：4,000 円、士会員以外及び一般の方：5,000 円（昼食入館料含）

※参加を希望される方は、11 月 1 日迄に FAX 又はメール にてお申込みを頂きます様、お願いいたします。参加希望者には、後日詳細日程を送ります。なお定員は 30 名ほど予定しておりますが、定員超過の場合は先着順とさせていただきます。お食事の予約等御座います。一週間前からのキャンセルの場合は、キャンセル料を徴収させていただきます。

また、昼食以外の飲食は各自で御用意頂きます様、宜しくお願い致します。



<<<FAX お申込み用>>>

所 属	岐阜支部 ・ 他支部（ 支部） ・ 一般（団体名： ）		
住 所	〒		
氏 名	（ 男 ・ 女 ）		年 齢 才 (保険加入必要の場合)
勤 務 先			
自宅・携帯電話番号	（ 自宅 ・ 勤務先 ）		
F A X 番 号			
メ ー ル ア ド レ ス			

【株岐創設計（山野）宛】 FAX 送信先 : (058) - 233 - 5873

メールアドレス：yamano@gisou.jp



施設概要

所在 大阪府中央区大阪城1-1 ミライザ
地 大阪城
建築 1,706㎡
面積
延床 約7,000㎡
面積





【彩輝館 設計者】



光嶋 裕介 (こうしま ゆうすけ)

建築家・一級建築士

1979年 米国・ニュージャージー州生

2002年 早稲田大学理工学部卒業

2004年 同大学院修了

2004~08年 独ベルリンにて、

ザヴァアブルッフ・ハントン・アーキテクツ勤務

2008年~ 光嶋裕介建築設計事務所主宰

2012~15年 首都大学東京にて、助教

2013年~ 大阪市立大学非常勤講師

2015年~ 神戸大学客員准教授

作品に《御風館》、《如風庵》、《旅人庵》、《レッドブル・ジャパン・オフィス》、

《望岳楼》、《旅人庵》など多数

著作に『みんなの家。』(アルテスパブリッシング)、『幻想都市風景』(羽鳥書店)、

『建築武者修行』(イースト・プレス) など多数

Asian Kung-Fu Generation 「Wonder Future」 全国ツアーの舞台デザインを担当

www.ykas.jp

yk@ykas.jp

【これまでの主な建築家のパートナー】

・東 和幸 (あずま かずゆき)

光永設計 / 管理建築士

中島工務店との主な作品：《西室院》、《理性院》、《西光院》

・栗林 賢次 (くりばやしけんじ)

栗林賢次建築研究所主宰、大阪工業大学非常勤講師

中島工務店との主な作品：《亀山双屋》、《慰母館》、《常善寺》

【建築家とつくる家・彩輝館シリーズ】

岐阜県加子母村の里山を拠点にしながら、自然素材を美しく使いながら丁寧な家づくりを進める中島工務店は、これからの「建築家とつくる家」を「彩輝館シリーズ」として名付けて、引き続き魅力ある建築をつくっていきます。

自社での設計施工のみならず、多様な建築の魅力を開拓し、さまざまな建築家とのコラボレーションによって、高い木造の建築技術を最大限発揮し、更に向上させるべく挑戦します。

▼凱風館、神戸、2011



撮影：山岸 剛

▼レッドブル・ジャパン・オフィス、東京、2012



撮影：山岸 剛

▼亀山双屋、亀山、2003



撮影：松岡 昭三

【設計コンセプト】

彩輝館（さいきかん）は、大阪の「彩都」と岐阜県の「加子母」を結びプラットフォームとして強い情報発信力をもつ、ギャラリーやオフィス、カフェといった複合的な機能を兼ね備え、豊かな建築のチカラでもって広く地域社会に輝きをもたらす拠点を目指します。

自然の木は、建物の柱や梁となっても呼吸をします。さまざまな自然素材が多様に響き合う表情豊かな空間は、L字の平面構成により1階にギャラリーとカフェ、2階にオフィスを配置しました。

ギャラリーはトップサイドライトから柔らかい光を採り入れ、内外壁は漆喰が美しく塗られた明るい空間。カフェには、ショーケースのような棚のある大きな開口を設け、そのカフェにある吹き抜けに面した2階には、大きなデスクをみんなで共有しながら働くオープン・オフィス。

外壁はさまざまな幅の檜材を黒く塗装し、凹凸による陰影を生み、造形においては加子母の美しき里山風景をイメージしました。床レベルに変化をつけることで複合的な機能を優しく包み込むような大きな屋根をデザインしました。

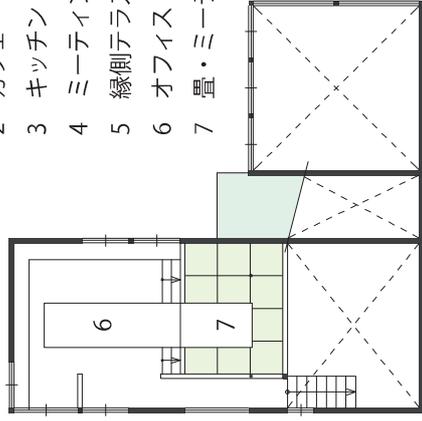
建築というものは、地球上のある特定の場所に、ある特定の人たちのために、ある特定の職人さんたちが「想い」を込めてつくり上げるもの。敷地とクライアントと出会い、設計段階から工事へと進み、竣工を目指しながら共有される「物語」は、目に見えないかもしれないが、そうした「想い」がしっかりと定着した建築をつくることこそが、愛された建築になると信じています。ここ彩輝館で、加子母の風を少しでも感じてもらいたい。

光嶋裕介（建築家）

【建築図面】

＜凡例＞

- 1 ギャラリー
- 2 カフェ
- 3 キッチン
- 4 ミーティング
- 5 縁側テラス
- 6 オフィス
- 7 畳・ミーティング



＜二階平面図＞

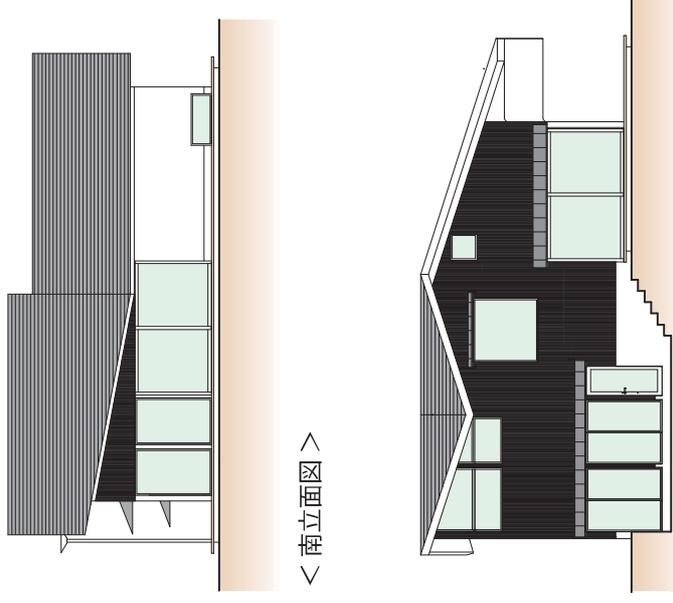


＜一階平面図＞

・ 建築面積：95.59 ㎡

(1階：84.67 ㎡、2階：34.78 ㎡、延床：119.45 ㎡)

・ 構造：木造軸組、平屋 + 一部二階



＜南立面図＞

＜西立面図＞

【ギャラリーの活用方法】

漆喰の壁が印象的なギャラリースペースは、絵画、漆喰、建築などの展覧会のみならず、加子母を中心とした岐阜県の情報発信や、地域住民のための交流や各種発表会（絵画や習字、写真展）など、多様で柔軟なイベントスペースとして活用していきます。

【利用規定】

貸ギャラリーとしての利用料金は、1日4000円。

・ 時間 9:00～17:00、定休日は、毎週火曜日、第2、第4月曜日
地域活動等で営利を目的としない場合は、利用料の免除があります。